事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 04-01-03	事務事業名 がん検診事業(結核検診事業含む)	所管部課 市民部 健康課
-------------------	---------------------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	事業内容・実施方法等/補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	☒ 法律 ☐ 条例・規則 ☐ 政令・省令 ☒ 要綱・要領
	事業内容: 胃がん、子宮がん、乳がん、肺がん、大腸がん、喉頭がん、前立腺がんの検診を実施。なお、国が平成21年度から、無料クーポン券を配付し、女性特有のがん(乳がん・子宮がん)の受診率向上を図る補助事業を新たに実施した。実施方法としては、1. 集団検診(①胃がん(30歳以上)②肺がん(40歳以上))、2. 個別検診(①子宮がん(20歳以上偶数年齢)②乳がん(40歳以上偶数年齢)③喉頭がん(40歳以上))、3. 集団・個別①大腸がん(40歳以上)②前立腺がん(50~74歳で偶数年齢)で実施している。個別検診は医師会に委託している。(予算: 4. 1. 3. 5がん検診事業費)	
事業開始時期	昭和57 年度	実施形態 ☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ その他()

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		121,012	150,057	147,636	192,944
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	22,770	11,384	19,783
地方債	千円	0	0	0	0
その他()		0	0	0	0
一般財源		121,012	127,287	136,252	173,161
所要人員(B)	人	1.8	1.8	1.6	1.6
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	14,697	14,544	12,928	13,064
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	135,709	164,601	160,564	206,008
単位当たりコスト(E)=(D)/(集団検診実施延べ日数)	千円	1,475	1,266	1,327	1,585

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
① 集団検診実施延べ日数	実績値 日	92	130	121	130
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 集団検診実施延べ日数は、集団検診で実施している胃・肺・大腸・前立腺のがん検診実施日数の合計とした					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一次 全がん検診受診人数	目標値 人	40,007	40,000	41,723	49,710
	実績値 人	35,682	41,723	41,091	
二次 乳がん検診受診率	目標値 %	50	50	50	50
	実績値 %	19.3	21	22	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 乳がんは死亡率の上昇が続いており、自己触診と検診受診による早期発見が求められている。受診率は都が精度管理のために算出方法を定めており、比較が可能。受診率(%) : 受診者数 ÷ (対象年齢人口 × 対象人口率) × 100 注: 22年度は速報値					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	乳がん・前立腺がん検診の対象年齢の拡大や、胃カメラによる胃がん検診の希望が市民から電話等で寄せられる。医師会より、胃がん検診、肺がん検診について国の指針に基づく検診方法に対して見直しの意見が出ている。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	☒ 上 ☐ 中 ☐ 下 国が推奨する胃・子宮・乳・肺・大腸がん検診を受益者負担なしで実施している市は平成22年度6市である。独自に喉頭がん・前立腺がん検診を実施しているのは2市のみ。7つ全てを無料実施しているのは西東京市のみである。医師会とがん検診事業検討会を設け受診率、質向上を図っている。
	代替・類似サービスの有無	☒ 有 ☐ 無 国民健康保健加入者の人間ドック利用者への補助は、平成20年度で終了した。企業の福利厚生や個人的にがん検診を受けることはできる。

事業コード 04-01-03	事務事業名 がん検診事業（結核検診事業含む）	所管部課 市民部 健康課
-------------------	---------------------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだこころの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	3	<p>本事業については、国が対策型検診として推奨する胃・子宮・乳・肺・大腸がん検診と、市が独自に実施している胃がん検診の30～39歳（22市年齢拡大実施）、喉頭がん検診（3市実施）、前立腺がん検診（10市実施）がある。対策型検診では検診精度を管理する基準が定められているが、ほぼ基準に従い実施できている。また、医師会とがん検診事業検討会を設置し、対策型検診とともに毎年事業の評価、改善を行い、がんの早期発見に積極的に取り組んでいる。</p> <p>乳がん検診は平成21年度の受診率は21%で、都（平均受診率14.4%）や国（14.7%）より高いが、国が目標とする検診受診率50%には届かず、更に受診率を向上させる必要がある。</p> <p>西東京市ではがん検診を全て受益者負担なしで実施している。国は受診率を上げる為に、女性特有のがん検診として乳がん・子宮がん検診、及び大腸がん検診について節目対象者に無料クーポン券を配布する補助事業を平成21年度より開始しており、国の動向に留意する必要があるが、受診率の向上を図りながら、がん検診事業を持続可能とするためには受益者負担の導入についても検討する必要がある。</p> <p>【26市の平成21年度受益者負担導入状況】 胃がん検診：9市、子宮がん検診：9市、乳がん検診：20市、肺がん検診：9市、大腸がん検診：9市</p>
	事業の必要性	3	
	事業主体の妥当性	2	
B	直接のサービスの相手方	3	
	事業内容等の適切さ	3	
	受益者負担の適切さ	1	
C	市民ニーズの把握	2	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	3	<p>受診率の向上についてはこれまでも努力されているが、効果が上がっていないのが実情である。受益者負担を求めることは受診率を更に下げるといふ見方もあるようだが、他市において受益者負担を求めている所でも受診率が下がったという報告は無いと聞いている。一部負担金を求めることも検討されたい。</p>
	事業の必要性	3	
	事業主体の妥当性	3	
B	直接のサービスの相手方	2	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	1	
C	市民ニーズの把握	1	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
☐ 拡充 ☐ 継続実施 ☐ 改善・見直し ☒ 抜本的見直し ☐ 休止 ☐ 廃止	<p>本市のがん検診は、国が推奨する5種に加えて独自に2種のがんについても対象としており、受診負担も求めていることから、極めて高水準での事業実施となっているといえる。</p> <p>がんの早期発見により市民の健康維持を図る意義は高く、事業は今後も継続すべきものだが、今後も財政状況の厳しさが見込まれる中では、地域経営戦略プラン2010に掲げたとおり、平成24年度中に受益者負担の導入について具体的な検討を行う必要がある。</p> <p>なお、課題として指摘されている受診率については、引き続き向上に努める必要があることに変わりはないが、勤務先で受診可能な市民もいること等も踏まえた現実的な目標水準を検証し、その上で、実績の評価や重点的な取組が必要な種目を見極めを行っていくべきである。</p>